

令和3年11月1日
九州地方整備局
長崎河川国道事務所

長崎大学大学院工学研究科と長崎河川国道事務所との連携・協力に 関する協定調印式のお知らせ ～安全・安心で持続可能なまちづくりのための連携・協力協定を締結～

長崎大学大学院工学研究科と長崎河川国道事務所が、より緊密かつ組織的な連携・協力体制をとることにより、大学にあっては、教育・研究面の向上及び地域社会への貢献に、事務所にあっては、安心・安全で、持続可能で、活力ある、将来にわたり「豊かさ」を実感できるまちづくりの推進に寄与することを目的として、連携・協力に関する協定を締結します。

1. 日 時
令和3年11月9日（火） 14時00分～15時00分
2. 場 所
長崎市文教町1番地14号
長崎大学工学研究科 大会議室（文教キャンパス 工学部1号館2階）
3. 取 材
報道機関のみの公開となります
調印式終了後、質疑応答の時間を設けております
カメラ撮りは冒頭から可能です
お車は正門正面外来者駐車場にお停めください
4. その他
調印式及び協定内容：別紙－1
連携・協カイメージ（参考資料）：別紙－2

【長崎河川国道事務所の問い合わせ先】

九州地方整備局 長崎河川国道事務所
工事品質管理官 上馬庭（かんまにわ）
電話 095-839-9896（直通）

ホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

Twitter：https://twitter.com/mlit_nagasaki

【長崎大学工学研究科の問い合わせ先】

長崎大学総合生産科学域事務部
西地区事務課長 富田 高廣
電話 095-800-4101（直通）

【式次第】

- (1) 出席者紹介
- (2) 長崎大学学長、長崎河川国道事務所長、工学研究科長 挨拶
- (3) 調 印
- (4) 連携活動の事例紹介
 - ・長崎大学大学院工学研究科
 - ・長崎河川国道事務所
- (5) 質疑応答
- (6) 終 了

【出席者】

長崎大学 : 学長、工学研究科長、副研究科長、関係職員等
長崎河川国道事務所 : 所長、技術副所長、関係職員等

【協定内容】

本協定は、大学と事務所が、より緊密かつ組織的な連携・協力体制をとることにより、大学にあっては、教育・研究面の向上及び地域社会への貢献に、事務所にあつては、安心・安全で、持続可能で、活力ある、将来にわたり「豊かさ」を実感できるまちづくりの推進に寄与することを目的としています。

この目的を達成するため、次の事項について連携・協力を行います。

- (1) 社会基盤の整備・保全及び防災・減災に係る地域への貢献に関すること
- (2) 社会基盤の整備・保全及び防災・減災に関する教育及び地域の人材育成に関すること
- (3) 社会基盤の整備・保全及び防災・減災に係る研究・技術開発に関すること
- (4) その他、上記目的達成のために必要と両者が認める事項

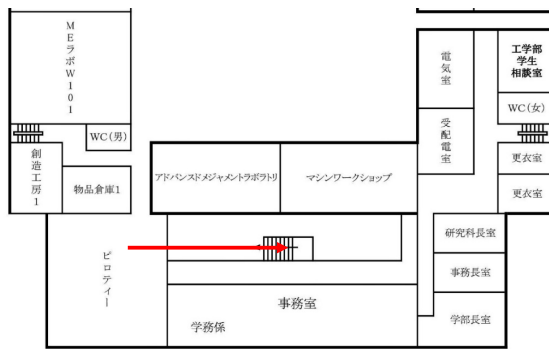
【調印式開催場所案内図】 (別添 長崎大学文教キャンパス案内図)

長崎大学文教キャンパス 案内図

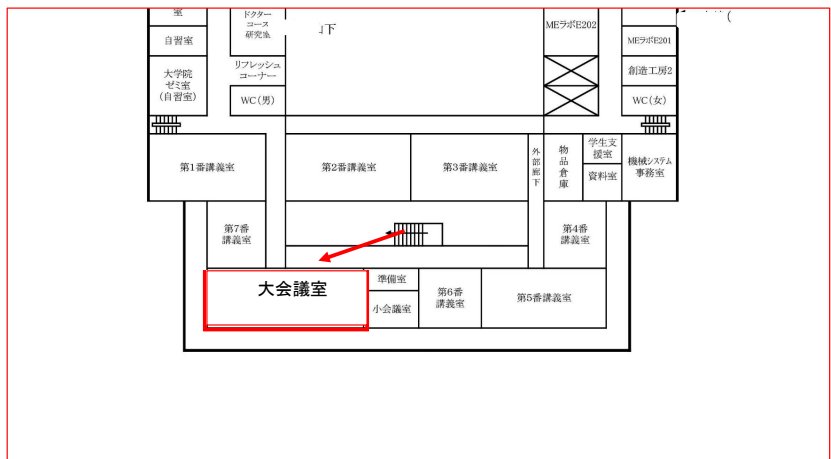
長崎大学 文教キャンパス
〒852-8521 長崎市文教町1-14



工学研究科1号館 1階



工学研究科1号館 2階



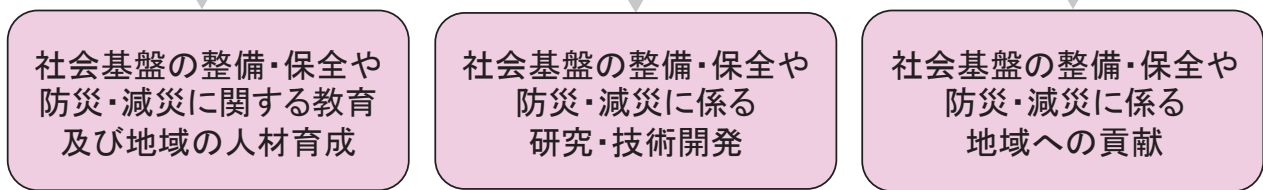


長崎大学工学研究科と長崎河川国道事務所との 連携・協力に関する協定



国立大学法人長崎大学大学院工学研究科 Graduate School of Engineering, Nagasaki University			国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所 Nagasaki River National Highway Office, Kyushu Regional Development Bureau, MLIT		
教 育 学校における社会基盤の整備・保全や防災・減災に関する教育、特別講義の開講、高度実務能力を持った技術者育成教育など	研 究 社会基盤の整備・保全や防災・減災関連の調査・研究・技術開発、関係機関との共同研究、社会への情報提供・提言など	地 域 貢 献 地域の防災教育・防災イベントへの協力、防災・社会基盤整備に関する行政機関への助言、Tec-Doctorによる技術指導など	河 川 本明川ダムの建設、一級河川本明川の整備や管理、河川調査、洪水予報、河川愛護活動支援など	道 路 西九州自動車道、国道34号、国道35号、国道57号、205号の整備や管理、道路調査、道の駅・日本風景街道・道守の地域連携など	防 災 雲仙・普賢岳の火山砂防・溶岩ドームの崩壊対策、本明川の防災・減災や水防災教育の取組、災害時の緊急輸送道路の通行確保及び情報提供など

連携・協力



長崎地域の安全・安心で持続可能なまちづくりに寄与

連携・協力量イメージ

教 育	研究・技術開発	地域貢献
長崎河川国道事務所と協働し、学校における社会基盤の整備・保全及び防災・減災に関する授業、高度実務能力を持った技術者育成教育など 《社会基盤整備関連授業》 長崎河川国道事務所長による特別講義  《技術者育成教育》 長崎河川国道事務所所管事業関連の現場見学 	長崎河川国道事務所と協働し、社会基盤の整備・保全及び防災・減災関連の調査・研究・技術開発、関係機関との共同研究、社会への情報提供・提言など 《社会基盤保全に関する調査・研究》 情報化・無人化施工の技術開発  《社会への情報提供・提言》 道路メンテナンスに関する技術講習会 	地域の防災教育・防災イベントへの協力、防災・社会基盤整備に関する行政機関への助言、Tec-Doctorによる技術指導など 《地域防災イベントへの協力》 大規模土砂災害合同防災訓練の指導  《Tec-Doctorによる技術指導》 国の要請を受けて被災した自治体への技術指導 

※上記は連携・協力の一例を紹介するものです。写真はイメージとなります。